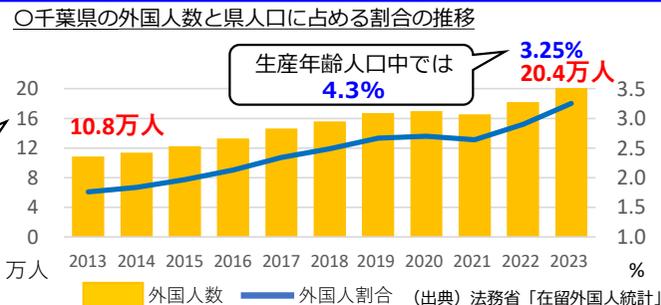


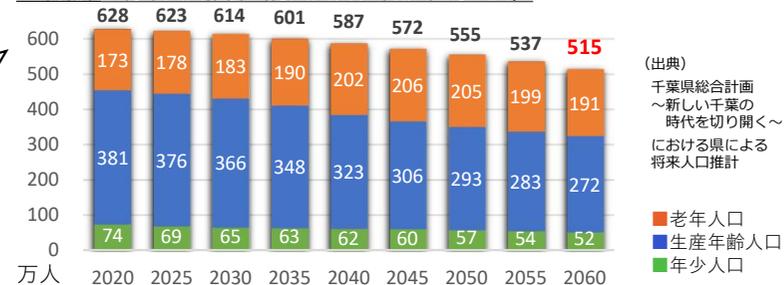
改訂の背景

<人口の推移>

県の在留外国人数
10年で**1.9倍**に



○千葉県の将来人口推計 (総人口及び年齢3区分人口)



<前プラン策定以降の主な社会変化等>

- 技能実習制度等の見直し
- デジタル化の進展
- 気象災害の激甚化等
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 国際的な人材獲得競争の激化
- 成田空港の更なる機能強化の進展

<県政を進める上での重要な視点>

「千葉県多文化共生推進条例」 (R6.1.1施行) の基本理念

国籍及び文化的背景などの様々な違いにかかわらず、全ての県民及び事業者がこれを理解し、尊重し合うことで、誰もがその人らしく活躍している社会の実現

→ **多文化共生の推進は、生きづらさの解消や創造性の向上につながり、県全体に活力をもたらす**

第3滑走路の新設など「第2の開港」
空港内従業員数は約4.3万人から約7万人に

<主題 (テーマ)>

新たな主題

外国人の活躍

- ・働き手、地域社会の担い手の減少
- ・育成就業制度の創設
- ／特定技能の見直しの動き

これまでの主題

地域社会との関わり

- ・外国人県民の孤立
- ・言葉などの違いによるトラブル
- ・相互理解促進の不足

日常生活に必要な日本語

- ・日本語での意思疎通の困難
- ・学校への適応が難しい
- 外国人児童生徒等

制度・生活に関する情報

- ・居住、医療、防災等において生活に必要な情報が得られない人への支援

<これまでの主な取組>

- #### 雇用・就労の促進
- ・企業への適切な情報提供
 - ・企業向け外国人留学生採用セミナー
 - ・介護分野への就業を目指す留学生の支援

- #### 外国人県民の活躍の場づくり
- ・チーバくんグローバルパートナーズ

- #### 多文化共生意識の醸成
- ・国際理解セミナー
 - ・国際交流・協力等ネットワーク会議

- #### コミュニケーション支援
- ・外国人相談事業
 - ・市町村の日本語教育体制整備への支援
 - ・「やさしい日本語」基礎研修※
 - ・日本語教室に関するHP上の情報提供※

- #### 子どもの教育環境の整備
- ・県立学校における外国人児童生徒等の教育相談員の派遣

- #### 住宅・医療・保健・福祉の充実
- ・外国人学生住居アドバイザーの設置
 - ・新型コロナウイルス多言語相談ホットライン
 - ・医療機関間の外国人対応ノウハウの共有

- #### 防災・防犯・交通安全対策の推進
- ・災害時外国人サポーター養成講座
 - ・災害時多言語支援センターの設置・運営
 - ・防犯・交通安全に関する外国人向け広報

- #### 雇用・就労の促進 (再掲)

<主な成果>

- #### 雇用・就労の促進
- ・ジェトロの伴走型支援への連携
 - ・外国人留学生採用への理解促進
 - ・外国人留学生の介護施設への就職

- #### 外国人県民の活躍の場づくり
- ・外国人県民の視点を活かした場づくり

- #### 多文化共生意識の醸成
- ・国際理解の促進
 - ・市町村、関係団体等の連携促進

- #### コミュニケーション支援
- ・外国人が直面する困難事案への的確な支援
 - ・地域日本語教室開設市町村の増加
 - ・行政機関における「やさしい日本語」の普及
 - ・外国人の日本語教育へのアクセス向上

- #### 子どもの教育環境の整備
- ・県立学校における日本語指導や適応指導の充実

- #### 住宅・医療・保健・福祉の充実
- ・外国人学生への住居支援
 - ・新型コロナウイルスに関する情報提供
 - ・医療機関の外国人患者対応力の強化

- #### 防災・防犯・交通安全対策の推進
- ・災害時ボランティア登録者の増加
 - ・災害時の対応マニュアルの整備
 - ・外国人の安全確保のための理解促進

- #### 雇用・就労の促進 (再掲)

<今後の課題>

外国人の活躍

- ・外国人材の定着
- ・高度外国人材の採用増
- ・留学生の県内就職率の向上
- ・新たな外国人受入れ制度に関する情報提供
- ・企業の理解促進
- ・成田空港における働き手の確保
- ・地域社会への溶け込み
- ・外国人の高等学校進学のための学習指導

地域社会との関わり

- ・相談体制・対応言語の充実
- ・地域日本語教育推進事業プランに基づく取組の推進
- ・県民の多文化共生への理解の一層の促進
- ・市町村、関係団体等の一層の連携促進
- ・外国人の社会参加のための取組

日常生活に必要な日本語

- ・国籍、地域の多様化への対応
- ・日本語教育にアクセスできない外国人への対応
- ・「やさしい日本語」の普及
- ・デジタルを活用したコミュニケーション支援
- ・外国人児童生徒等の相談体制の一層の充実

制度・生活に関する情報

- ・外国人の住居確保の支援
- ・感染症の拡大に備えた体制整備
- ・外国人への医療におけるトラブルの解消
- ・市町村の災害時外国人支援体制の充実
- ・外国人の安全確保のための情報発信の充実

企業等向けアンケートによりさらに情報収集

プラン名称の変更・新たな目標設定が必要

千葉県多文化共生推進プラン 改訂の考え方②

新プランの名称（案）

千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン

新たな目標に基づく今後の方向性

基本目標

日本人と外国人が共に活躍し、安心して暮らすことにより、将来にわたり社会の活力を生み出せる県づくり

施策目標 1

外国人が様々な違いのある個人として尊重されその人らしく活躍できる県づくり

働き手としての
外国人活躍

企業等と外国人との
マッチング機会の創出、
企業等の理解促進
など

地域の担い手としての
外国人活躍

多文化共生意識の醸成、
県政に外国人の視点が
生かされる環境づくり
など

コミュニケーション
支援

相談体制の充実、
デジタルを活用した
コミュニケーション
支援
など

子どもの
教育環境の整備

外国人児童生徒等へ
の日本語指導や適応
指導等の充実
など

住宅・医療・保健・
福祉の充実

新型コロナ対応の
経験を踏まえた
外国人への情報提供
体制づくり
など

防災・防犯・
交通安全対策の推進

全県的な災害時外国人
支援体制づくり、災害
時ボランティアの充実
など

取組の
方向性

施策目標 3

様々な主体の連携により、日本人と外国人の活躍・共生を推進する県づくり

外国人活躍・多文化共生の推進のための様々な主体の連携

県内事業者、大学等との連携体制づくり
市町村、市町村国際交流協会、NPO等県内の関係団体等との連携・協働
など

取組の
方向性

計画期間

令和6年度
～令和9年度

進捗の管理

関連する指標により進捗を管理

- 例：・ 学校卒業後、県内で就職する外国人留学生の割合（令和4年度時点：12.8%）
・ 日本語学習支援ボランティアの養成人数（累計）（令和5年度末時点：153人）
・ 地域日本語教室が開設されている市町村数（令和5年度末時点：39市町村）